

厳正かつ公正・中立な 審査業務の実施の徹底

- 不当要求者への組織的対応に努め、発生件数は491件と前年度比26%減（通年で過去最少）
- 受検機会の公平性及び確実な整備の確保のため、1回の申請に基づくコースへの入場回数を規定
- 高度化施設の習熟研修等研修内容の充実、段階的能力向上を考慮
- 職員の意欲向上を図るため、多様な業績を表彰、対象人数も増加

受検者等の 安全性・利便性の向上

- 事故分析に基づく危険箇所への注意表示、事故速報の伝達・事故ゼロの日の設定など職員の意識向上に努め、全体で8%の計画に対し17%削減、有責事故は10%の計画に対し25%削減（18年度比）
- 故障発生の影響度が大きい機器を重点的に老朽更新を行い、故障等によるコース閉鎖時間を、8%の計画に対し17%削減（18年度比）
- 受検者に対するアンケートを工夫、結果を改善に活用し、業務改善に活用

検査情報の電子化等 による検査の高度化

3次元測定・画像取得装置

- 全国に47基を導入
- 受検者の理解の向上のため、報道関係者・関係機関等の見学会を本部や全国の検査部等で開催
- 32事務所で本格運用を実施

自動車審査高度化施設

- 関東・中部を中心に33か所導入
- 八王子事務所で習熟訓練のため研修を積極的に実施（合計28回、608人）、仕様の改善にも反映

自動車社会の秩序維持

- これまでの実績を超える13万台の街頭検査を実施（目標+22%）
- 大型自動車のタイヤ脱落事故を受けた緊急街頭検査等社会的要請に対応
- 灯火の色に関し色度計を用いた測定方法の検討
- 不正改造車撲滅のための啓発活動をカスタムカーショー、カー用品販売会社などで実施
- 国際見本市で講演を実施
- 高度化等について利用者の理解を得るため、パンフレットを改訂、紹介はぐさを作成

業務運営の効率化

組織運営

- 19年6月に策定した要員再配置計画に従い、要員を削減

業務運営

- 一般管理費、業務経費ともに、効率化目標を達成
- 一般競争入札の導入・範囲拡大等を通じた一層の効率化
- 資産の有効活用のため研修教室の貸付に係る規定を整備

その他

施設及び設備に関する計画

- 小牧事務所の建替工事開始
- マルチテスト17基、大小兼用19基、二輪用4基の更新を実施

人事に関する事項

- 役職員の給与は国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与体系

▶ 政府方針等について着実に対応

- 「独立行政法人整理合理化計画」（平成19年12月閣議決定）
- 政策評価・独立行政法人評価委員会の意見、関心事項
- 行政支出総点検会議「指摘事項」（平成20年12月）
- 会計検査院による独立行政法人の契約制度等に関する指摘事項（平成20年11月）
- 財務省予算執行調査（平成19年7月）